

*減価償却は定率法で計算されています。

■ 損益分岐点売上

期間		損益分岐点売上	想定売上	ギャップ
初年度	年額	6,389万円	7,707万円	1,318万円
	平均月額	532万円	642万円	110万円
5年目までの平均	年額	4,117万円	8,904万円	4,786万円
	平均月額	343万円	742万円	399万円

計算式は 固定費 ÷ (1 - 変動比率)

■ 倒産分岐点売上

期間		倒産分岐点売上	想定売上	ギャップ
初年度	年額	3,285万円	7,707万円	4,422万円
	平均月額	274万円	642万円	369万円
5年目までの平均	年額	3,255万円	8,904万円	5,649万円
	平均月額	271万円	742万円	471万円

計算式は (固定費 - 減価償却費) ÷ (1 - 変動比率)

■ 運営分岐点売上

借入金がない、または返済金が減価償却費より下回っている場合は必要のない指標

期間		運営分岐点売上	想定売上	ギャップ
初年度	年額			
	平均月額			
5年目までの平均	年額			
	平均月額			

計算式は [固定費 + (返済金 - 減価償却費)] ÷ (1 - 変動比率)

■ 理想分岐点売上

借入金がない、または返済金が減価償却費より下回っている場合は必要のない指標

期間		理想分岐点売上	想定売上	ギャップ
初年度	年額			
	平均月額			
5年目までの平均	年額			
	平均月額			

計算式は [固定費 + (返済金 - 減価償却費) × 2] ÷ (1 - 変動比率)

固定費 = 人件費 + 賃貸料(歩合賃料を除く) + リース料 + 減価償却費 + 支払金利 + 本部費
 変動費 = 原料費 + その他の経費(変動比率とは売上に占める変動費の割合)

*使用している計画数値は5年間の平均値

*標準値は金融公庫発表のデータの中から一般飲食黒字店平均を採用しています。

■ 売上を見る

経営指標	計画数値	標準値	計画数値
総資本 回転率	3.37回転	2.1回転	使用総資本に対する売上高の割合=総資本回転率 売上高÷使用総資本
従業員一人当 売上高(年)	1,430.3万円	1,549.6万円	労働人員一人当たりの売上高 売上高÷労働人員数(パートは8時間計算)
坪(3.3・)当たり 売上高(年)	356.1万円	259.7万円	店舗スペースの1坪当たりの売上高 売上高(月額)÷店舗面積(坪)
顧客スペース当たり 売上高(年)	222.6万円	データなし	最小顧客スペース当たりの売上高 売上高(月額)÷椅子またはベッド数など

■ 利益を見る

経営指標	計画数値	標準値	指標の意味と計算式
売上高 総利益率	65.3%	64.7%	売上高に占める粗利益の割合 (売上高-原価)÷売上高×100
売上対 営業利益率	30.1%	3.0%	売上高に占める営業利益の割合 営業利益÷売上高×100
売上対 経常利益率(償却前)	29.8%	5.4%	売上高に占める経常利益の割合 経常利益(償却前)÷売上高×100

■ 経費を見る

経営指標	計画数値	標準値	指標の意味と計算式
平均原価率	34.7%	35.3%	売上高に占める原料費の割合 原価÷売上高×100
人件費率	16.1%	34.5%	売上高に占める人件費の割合 人件費÷売上高×100
諸経費率	19.1%	25.7%	売上高に占める諸経費の割合 諸経費÷売上高×100

■ 安全性を見る

経営指標	計画数値	標準値	指標の意味と計算式
資金回収速度	1年5ヶ月	繁華街立地 3年程度	使用総資本の回収期間 使用総資本÷キャッシュフロー
自己資本比率	33.3%	20.5%	総資本に占める自己資本の割合 自己資本÷資本総額